

ますは

「新しい人を着る」

「真理に基づく義と清さの内に、神にかたどって造られた新しい人を着なさい。」

(エフェソの信徒への手紙 第4章24節・新約聖書349頁)

はじめに

パウロは、教会はキリストの体であり、キリストを信じている一人一人が「神の作品」であることを自覚していくならば、大きな祝福をいただくことができると記しました。私たちは神が備えてくださった恵みを引き出し、いただきながら成長し、作品であることの価値を高めていくことで、神の栄光を現すことができます。さらに、キリストを信じる同胞と共に「共に建てられ」、また主の臨在を感じながら歩み、神の栄光が満ちる中に留まることができる、神の神殿とされていくのだとの奥義も示されています。ただ単に、信徒として教会に属し、礼拝を守っているのではなく、私たちは主が建てられた教会として破格に扱われているのだとの奥義を深く知っていく必要があります。

パウロは、この奥義を示した上で、私たちの覚悟を再確認しています。今日は、その箇所を見ていきましょう。

古い人

4章17節にある「ですから」は、教会を語った上で、私たちの取るべき態度を示しています。

パウロは「厳しく命じます」と言っていますが、「異邦人が空しい考えで歩んでいるように歩んではならない」「もはや後戻りをしてはならない」、それは、「知性が闇に閉ざされるから」です。「神の命と無縁な者」になるからです。「感覚が麻痺し、放縦に身を任せ、欲望のままにあらゆる汚れた行いにふける」からです。パウロは、これらの以前の生き方を「古い人を着てい

る」と表現しました。教会の素晴らしい奥義を知りながら、古い人を着ようとするならば、それは古い革袋に新しいぶどう酒を入れるように、すぐに破滅してしまいます(マタイ9:17)。

古い人を脱ぎ捨てる

私たちが教会の奥義に生きるためには、古い人を脱ぎ捨てなければなりません。未練はあるのでしょうか。今までして来たことができなくなると思うのでしょうか。しかし、神は、その思いに勝った良いもので私たちに満たしてくださることを知るべきです。勇気を持って、脱ぎ捨てましょう。

新しい人

新しい人を着るためには、「心の霊において新たにされる」、つまり、主イエスの贖いのわざを信じる信仰です。今までの罪を脱ぎ捨て、主イエスに贖われた者たちは、主イエスによって新たな歩みをすることができるのです。その信仰に生きることが条件です。そして、神にかたどって造られた新しい人に「袖を通す」のです。私たちが衣類を買う時に、自分の体型にフィットするものを選びますが、私たちが着るものは「神にかたどって造られた」ものです。最初はあわないかもしれませんが、神がそれに合うように私たちを変えてくださる。だからこそ、私たちは、新しい人となり、教会の奥義を味わいつつ、生きていくことができるようにされるのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「ですから、以前のような生き方をしていた古い人、すなわち、情欲に惑わされ墮落している人を脱ぎ捨て、心の霊において新たにされ、真理に基づく義と清さの内に、神にかたどって造られた新しい人を着なさい。」(エフェソ 4:22～24)

神さま、私は、信仰を持つ前の私の過ごした日々を思い浮かべています。主イエスさまの救いを知らなかった自分は、なんと自己中心で、墮落した生き方をしていたでしょうか。自分のことしか考えないで行動をしていたことで、多くの人に迷惑をかけていました。また、欲望が



日ごとに増してきて、墮落、破滅的な生き方に支配されていきました。もし、そのまま日を過ごしていたら、私の人生はどうなっていたでしょうか。主イエスさまの救いが必要ならば、自分の生涯を悔いながら絶望の中を過ごしていたでしょう。今、教会のすばらしさを味わっています。古い人を脱ぎ捨て、もう着ることはありません。どうぞ、私にその決断をさせてください。そして、自分の良いようではなく、神にかたどって造られた新しい人を着、キリストに似せられた者とされていきますように。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (64) 第3章26節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「主があなたの傍らにおられ 畏から足を守ってくださる。」

◎口語訳 「これは、主があなたの信頼する者であり、あなたの足を守って、わなに捕われさせられないからである。」

◎新改訳 「主があなたのわきにおられ、あなたの足がわなにかからないように、守ってくださるからだ。」

「傍らにおられ」

口語訳では、突然襲ってきた、思いもかけないような出来事があっても、おののくことがないのは、「主があなたの信頼する者」だからだと訳しています。非常にわかりやすいと思います。

主が傍らにいるのは、自分が主に信頼しているからなのです。

ここで使われている「信頼」の語を調べてみると、レビ記に5回出てくるのですが、レビ記ではすべて「肝臓の尾状葉」と訳されています(3:4、10、15等)。口語訳、新改訳でも「肝臓の上の小葉」となっています。なぜ別の場所では「信頼」が解剖学的な言葉に訳されているのか、非常に興味深い語です。理由は分かりませんが、肝臓の尾状葉を「体の深部」と捕らえ、深い所で神に信頼する姿勢を保って歩んでいるとい

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

た、普通の信頼ではなく、自分は神に信頼しているのだとの揺るぎない姿勢を強調している語だからではないかと思えます。

「傍らにいる」は、家族と生活していると実感します。同居しているわけですが、一緒にいなければならないという意識はなく、当たり前のように食事をし、またさまざま話を話しています。「傍らにいる」とは、このような状況ではないでしょうか。つまり、神への信仰が篤いことで、神を信頼していることを特別に意識することがない状態、なのだと思います。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

士師記5章31節「主よ、あなたの敵はすべて滅びる。主を愛する者たちは、日の出の勢いを得る。国は四十年にわたって平穏であった。」◆私たちは神に愛されている。神に祝福された者である。だからこそ、神は私たちに勝利をもたらす。このことを忘れてはならない。だから、閉ざされているように見えても、道が開かれると信じよう。暗闇の中にあっても、日の出の勢いが与えられ、太陽が輝き渡ることを信じよう。泥沼で抜けきれずもがいていたならば、そこに手がさしのべられて、引き上げられる。それは必ずなる。失望には終わらないと信じよう。

●賛美 / 353 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

士師記第6章12節「主の使いは彼に会うと、『力ある勇士よ、主はあなたと共におられます』と言った。」◆ギデオンの召しの場面である。彼は敵が攻めてきたら、真っ先に逃げる人だった。この時も、敵が攻めてきても自分だけは助かるようにと隠れて作業をしていた。こんなこそそしている人物に誰が「勇気があるなあ」と声をかけるだろうか。ところが主は彼を「大勇士よ」と呼んだのだ。驚きである。だが、「主はあなたと共にいる」から大勇士なのだ。あなたもそう呼ばれている。目を上げよう。隠れるな。主は共にいる。

●賛美 / 354 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

士師記第7章7節「手で水をなめたこの三百人をもって、私はあなたがたを救い、ミデヤン人をあなたの手へ渡そう。残りの兵は皆、それぞれ自分の家に帰しなさい。」◆ここでも神は驚くべきことをなされる。3万人以上集まったのだから喜ぶべきだ。ところが、それを100分の1も減らしてしまう。おびただしいミデヤン人たちにどう当たっていけばいいのか。私たちに策はない。だが、委ねた時、神は驚くべき方法をもって勝利をもたらすのである。私たちは神を侮っていないだろうか。神はいとも小さき者を用いて、勝利をもたらしてきたではないか。

●賛美 / 355 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

士師記第8章27節「すると、イスラエルのすべての人々がその場所を慕い、淫行に走るようになった。このことはギデオンとその家にとって災となった。」◆イスラエルを救ったギデオンは、人々に王になるよう乞われる。「できない」と言い切ったことはよかったのだが、その後、彼は自分の勝利を記念するものを作ってしまった。彼が勝利したのは神への従順によるはずだった。だから、神に対して従順に生きることを伝えるべきで、それを自分の生き方で示すことが最もふさわしかったはずなのだ。一つの像をもって代用したことで信仰はすたれたのだ。

●賛美／356 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

士師記第9章56節「こうして神は、アビメレクが自分の父に対して行ったこと、すなわち兄弟七十人を殺した悪事の報復を果たされた。」◆ギデオンには70人の子他に側室の子アビメレクがいた。アビメレクは自分が国を支配すべく70人を殺す。ところがヨタムだけが身を隠し、生き残った。その後ヨタムとの争う中で彼は死んだが、神が打たれたからだ。だが神が打たれたことよりも、重要なのは神の前に真実に生きたかどうかだ。神の御心にそって歩む時、そこに喜びがあり、力づけられるわけで、他の生き方では魂が死んだ者のようになるのは当然である。

●賛美／357 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

士師記第10章16節「彼らは異国の神々を自分たちの間から取り除き、主に仕えるようになった。主はイスラエルの苦しみを見るに忍びなくなった。」◆トラ、ヤイルの後は指導者が起こらず、再び民たちは信仰を捨てていく。民たちを導き、養ってきた神への忘恩の行為である。造られたものである人間が造った神を捨てる行為は、人間の生きる目的の喪失につながり、混乱に陥る。神はこれらの様子を「見るに忍びない」とされる。なんと憐れみに富まれる神だろう。この神を覚えるべきだ。そして、今の恵みの時を機会として、神に立ち帰りたいものである。

●賛美／358 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会在祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

士師記第11章39節「父は自分の誓願どおりに娘を献げた。」◆エフタは戦いに出る時、最初に迎えるものを「焼き尽くすいけにえ」としてささげると誓った。やがて勝利して帰ってきた彼を迎えたのは自分の娘だった。アブラハムの時にはやぎを備えていてくださった神は、この時沈黙されていた。アブラハムの場合「神の命令」だったからではなからうか。彼がなぜこのような誓いを立てたかはわからないが、自らにとって過分なものであった、つまり周囲の目を気にしていたのである。大事なことは御言葉に聞いて、従うことである。

●賛美／359 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【ししき 13:1~16:31】

「ギデオンの たたかい」

(ししき 16:30)

サムソンは うまれながらにして かみさまに ささげられた ひとでした。しかし、サムソンは かみさまから あたえられた ちからを むだに つかっていました。たしかに、ペリシテじんたちは サムソンが いることで、イスラエルの ひとたちに なにもすることはできませんでした。しかし、それであきらめていたわけではありませんでした。サムソンに なにか じゃくてんがあるのではないかと かんがえたからです。

そのとおり、じつは サムソンの ちからの みなもとは、かみのけにありました。かみのけを きってはならないと かみさまが おっしゃったとおり、うまれてから、かみのけを きったことはありませんでした。

ところが、そのひみつを デリラという じょせいにおしえてしまうのです。じぶんの ちか

らが かみさまから あたえられていることを ちゃんと わかっていたら、そんなことは しなかつたでしょう。サムソンの ころは たかぶっていたのです。デリラは サムソンの ねている あいだに かみのけを きってしまいました。デリラは ペリシテじんの みかただったのです。

ペリシテじんが ちからの なくなった サムソンを とらえ、めをつぶして、ろうやにいれてしまいました。

サムソンは じぶんが かみさまのまえに ちゃんと いきていなかったことを はんせいしました。ろうやで すごしていると、サムソンの かみのけが のびてきました。それとどうじに ちからが からだに みなぎってくるのが わかりました。

サムソンは ペリシテじんのまつりのときに、そのしんでんのはしらを たおしました。しんでんは つぶれ、サムソンもしんでしまいました。さいごにおおくの ペリシテじんを たおすことができたのでした。

●かんがえてみよう

☆サムソンの ちからの みなもとは なんでしたか。(ししき16:17)

☆おしえてはならなかった そのひみつを だれに おしえたのですか。(ししき16:18)

☆サムソンは さいごに どのようなことを しましたか。(ししき16:30)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

も　う　い　ち　び　つ　よ　め　こ

	ど	め	よ					ち
			い		ち	て		
て	も							ど
め		て		ち	う	ど	つ	よ
ど		よ			め	う	ち	も
	ち	も	つ	よ				
	う				よ	も	め	て
よ	め	ど	う	も	て			
も		つ	ち	め	い	よ		

こ
と
ば
あ
そ
び

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① かるそらみをれ
- ② きょうげんじ
- ③ なくこをひ
- ④ ものせみ

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「星の数」

開館30年に合わせ、2年前から改修していた相模原市立博物館のプラネタリウムが7月16日、リニューアルオープンしました。なんと、10億個の星を映し出すことができる「ケイロンⅢ」という投影機を導入(5億円とか)、同時に、8K全天周映像を体験できるそうで、「世界初」だそうです。さらに、小さい子が途中でむずかかったりしても大丈夫なように、ガラス越しで鑑賞できる専用のブースが設けられているとのこと、より安心して利用でき

るらしいです。

何しろ、宇宙航空研究開発機構(JAXA)相模原キャンパスの隣地ですから、市長も力を入れているのだと思います。今まで一番多くの星を投影できたのが名古屋科学館の1億個だそうですから、一気に10倍です。おそらくは当分、世界一の座を守ることができるに違いありません。

ただ、条件がベストであっても肉眼で見える星は1万個くらいだそうですから、見えないものまで見せてくれる、天体ショーになるわけです。

真っ暗闇の中、手探りで登ったシナイ山で見た星空を忘れることができません。「こんなにあったんだあ」とアブラハムの追体験をしましたが、プラネタリウムはもっとすごいんですね。

聖書ふれあい街歩き

●エルアレ

イザヤ 15:4 とエレミヤ 48:34 には「ヘシュボンとエルアレ」と並び記されています。今で言うところラップみたいなもので、ヘブライ語では音の響きやリズムも考慮し、言葉を並べて強調する手法があります。ヘシュボンはここで一度取り上げましたが、モアブでも重要な町で、アモリ人の王シホンの都(民数記 21:26)でもありました。エルアレは、ヘシュボンの近郊にある町で、ブドウ畑や農業が盛んで、戦略的、経済的に重要な町だったという説と、パレスチナの最南端の町「エイラート」だとする説があります。このエイラートであるとするならば、モアブの北端から南端までの領土を指し、モアブ全体が神からの裁きを受けるのだという、地理的な広がりが増えられますので、説得力はあります。ただし、正確に言うところこの場所はエドム人の勢力圏内だったので、その説でいいのか、という判断材料にはなりません。

このエイラート、イスラエルにとって唯一と言って良い貿易港だったので、ソロモンの交易拠点としても「エツヨン・ゲベル」(列王上 9:26)出てきます。この記述から、オフイル(場所不明)に金を買い入れるための重要な目的を担っていたことが分かります。

ななめ聖書 先週のこたえ

ひ	ま	だ	た	り	い	に	つ	て
に	り	て	ひ	ま	つ	い	た	だ
い	た	つ	て	に	だ	ひ	り	ま
ま	て	に	つ	ひ	た	だ	い	り
た	だ	り	に	い	ま	つ	て	ひ
つ	い	ひ	だ	て	り	ま	に	た
だ	つ	い	り	た	ひ	て	ま	に
て	ひ	た	ま	つ	に	り	だ	い
り	に	ま	い	だ	て	た	ひ	つ

- ①からのみずがめ
- ②ひざをつく
- ③どうしうち
- ④ぎるあど



エフェソでのパウロ

パウロは会堂に入って、三か月間、神の国について堂々と論じ、人々の説得に努めた。

しかしある者たちが、かたくなで信じようとせず、会衆の前でこの道を非難したので、パウロは彼らから離れ、弟子たちをも退かせ、ティラノと言う人の講堂で毎日論じ合った。

このようなことが二年も続いたので、アジア州に住む者は皆、ユダヤ人もギリシア人も主の言葉を聞くことになった。

神は、パウロの手を通して数々の目覚ましい奇跡を行われた。彼が身に着けていた手拭いや前掛けを持って行って病人に当てると、病気は癒やされ、悪霊どもも出て行くほどであった。

(使徒言行録19:8~12)



一本だけ現存しているアルテミス神殿の柱

【路傍伝道】

昔はよく「路傍伝道」といって、街頭に出て、通りすがりの人を対象に、証しをしたり、聖書の話をするがありました。私も学生の頃、横浜駅の人通りの多い場所を選んで賛美をし、また証しをした経験があるのですが、今思うと、よくあんなことができたなあと思います。仲間もいたのですが、相当の勇気がないとできません。ずいぶん祈って、出て行ったように記憶しています。

仏教では辻説法と言う、この伝道方法は戦前では当たり前のように行われていたのですが、次第に通行の妨げ、騒音、周辺の商業施設への影響などから、警察に通報されるようになり、さらに道路交通法などの取り締まり強化、そして、オウム真理教事件以降は宗教への極度の社会的な警戒感によって「息の根を止められ」てしまいました。

私が学生時代、街頭演説で有名だったのは右翼の政治家、赤尾敏(あかお・びん)です。彼は毎日休まずに銀座の数寄屋橋交差点で街頭演説を行っていました。私も何かの折に東京に行った際、赤尾敏の演説を聞きに行ったことがあります。街宣車の上から「反共 愛国」を熱弁、最後は君が代を歌って引き上げる、すごいのはそれが「毎日」だったということです。あの大勢が行き交う数寄屋橋交差点で、40年間、100歳近くまで続けたのですから、知らない者はなくなるはずです。パウロも同様に、エフェソの銀座、数寄屋橋交差点のようなティラノの講堂で、毎日福音を説いていたわけですから、「アジア州に住む者は皆、ユダヤ人もギリシア人も主の言葉を聞くことになった」のは当然のことです。この結果、エフェソの周辺の町にもキリストを信じる群れが生じ、伝道の一

大拠点になっていくわけです。

【目覚ましい奇跡】

パウロに注目が集まったのは、「説教」だけではありませんでした。「奇跡」も伴っていたことを忘れてはなりません。パウロが身に着けていた手拭いや前掛けを持って行って病人に当てると、癒やされたのですから、驚きです。

長年病気を抱え、診療費に全財産を使ってしまった女性が、「この方の衣にでも触れば治していただける」と主イエスの衣に触れ、癒やされた記事がありますが、これは「あなたの信仰があなたを救った」と言われているとおりで、信仰によって起こった奇跡でした(マルコ5:25~)。しかし、ここでは、この章の13節以下の記事を参照しながら考えると、対象者の信仰が問われているのではなく、「主イエスの名」によって奇跡が起こることを伝えることが目的だったと思われる。

目に見える変化ですから、これほどアピールするものではありません。神の国を説いた主イエスも言葉と奇跡を用いたわけですから、福音は強烈な印象を伴って、人々に受け入れられ、「ますます勢いよく広ま」っていったのです(19:20)。

ただ、主イエスは神でしたが、パウロは人です。また、癒しの賜物があると言う伝道者も今までにたびたび出てきましたが、その人もまた人です。この場合、気をつけなければならないのは、奇跡を引き出す者たちが「崇められる」ことです。新興宗教などでも教祖が崇められるのは、霊能力があると認めさせるからであり、パウロもその危険性がありました。ですから、パウロはその点に気をつけ、主の御名を崇めることが損なわれないように、注意をしたはずでした。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

